

令和 6 年度

主要施策の成果に関する説明書

(安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン実施状況報告書)

2 主要事業の成果

(抜粋版)

(警察本部)

2 主要事業の成果(抜粋版) 目次

それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

(1) 県民の挑戦を後押し

ア 県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| ・ 交通安全施設整備費 | [警察本部] 344 |
| ・ 交番・駐在所整備事業 | [警察本部] 346 |
| ・ 免許事務費<運転免許証とマイナンバーカードの一体化に向けた基盤整備> | [警察本部] 348 |
| ・ 警察本部別館基町庁舎(仮称)建替等整備事業 | [警察本部] 349 |

令和6年度主要事業の成果

支出科目	款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費	領域	治安・暮らしの安全
担当課	警察本部	取組の方向	③ 交通事故抑止に向けた総合対策
事業名	交通安全施設整備費（一部国庫）		

目的

交通環境の整備・改善を行うことにより、交通事故の防止を図り、あわせて交通の円滑化に資する。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

交通事故防止及び交通の円滑化のため、信号機の新設等交通安全施設を整備し、安全かつ快適な交通環境を確保する。

(単位：千円)

内 容		当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
交通管制センター機器等	交通管制システム更新等	425,981	366,268	366,268 [—]
信号機	信号機新設、改良等	1,207,585	1,212,773	1,211,081 [—]
道路標識	道路標識の設置等	182,094	180,170	180,170 [—]
道路標示	道路標示の設置等	363,938	355,193	355,193 [—]
維持費等	電気料、専用回線料、保守委託料等	741,726	699,246	688,555 [—]
合 計		2,921,324	2,813,650	2,801,267 [—]

令和6年度の成果目標と実績

○ ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和元年)	目標値 (令和6年)	実績値 (令和6年)
交通事故死者数	75人	60人以下	68人
交通事故重傷者数	1,043人	年間700人以下	819人

○ 事業目標：

指 標 名	基準値 (令和5年)	目標値 (令和6年)	実績値 (令和6年)
高齢者、歩行者、自転車、飲酒に関連する交通事故死者数	高齢者 38人 歩行者 25人 自転車 7人 飲 酒 2人	前年実績対比の減	高齢者 40人 歩行者 28人 自転車 7人 飲 酒 6人
高齢者、歩行者、自転車、飲酒に関連する交通事故重傷者数	高齢者 280人 歩行者 203人 自転車 192人 飲 酒 17人	前年実績対比の減	高齢者 277人 歩行者 198人 自転車 165人 飲 酒 11人

令和 6 年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 交通事故死者数、重傷者数とともに目標は未達成であるが、信号機の新設等交通安全施設の整備に加え、交通安全教育等の各種対策を継続するとともに、交通事故実態に即した交通指導取締りや広報啓発活動等を実施した結果、死者数については、統計を保有する昭和 23 年以降で最少となった。
- 交通事故死者のうち、高齢者は、前年比で 2 人増加した。また、全体の 58.8% を占めており、うち道路横断中が 18 人であった。
交通事故重傷事故者のうち、高齢者は、前年比で 3 人減少した。
- 交通事故死者のうち、歩行中の死者は、前年比で 3 人増加した。歩行中の死者のうち、道路横断中が 23 人と最多であった。
交通事故重傷者のうち、歩行中の重傷者は、前年比で 5 人減少した。
- 交通事故死者のうち、自転車乗車中の死者は、前年比で増減はなかったが、いずれもヘルメットが非着用であった。
交通事故重傷者のうち、自転車乗車中の重傷者は、前年比で 27 人減少した。
- 交通事故死者のうち、飲酒運転による死者は、前年比で 4 人増加した。
交通事故重傷者のうち、飲酒運転による重傷者は、前年比で 6 人減少した。
- 交通の安全と円滑を図るため、交通環境の変化等に応じた交通安全施設整備を行う必要がある。
- 整備後、長期間が経過した交通安全施設の老朽化が進んでおり、倒壊や誤作動などの事案を発生させないよう、適切な管理や計画的な更新を行う必要がある。

令和 7 年度の取組方向

- 令和 6 年の交通事故死者数及び重傷者数は前年と比べて減少しており、一定の成果が認められることから、引き続き、交通安全施設の整備については、目標値の達成に向けて、県民の要望のほか、交通事故の発生状況や交通環境の変化等を総合的に踏まえ効果的かつ必要な場所への整備を行う。
- 視認性の向上による事故抑止効果が期待でき、かつ温室効果ガスの削減や電気料金の低減が可能となる信号灯器の LED 化を推進する。
- 将来にわたり必要な交通安全施設を維持し、交通の安全と円滑を確保するため、設置年数や保守点検の結果を踏まえ、老朽化した施設の更新を計画的に進めるとともに、信号機等の設置の合理化に努める。

令和6年度主要事業の成果

支出科目	款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費
担当課	警察本部
事業名	交番・駐在所整備事業（単県）

目的

「安全・安心をもたらす警察活動」の拠点であり、地域住民の拠り所として重要な施設である交番・駐在所について、老朽化した施設の計画的な建替整備を行う。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

1 本通交番の代替施設借受 (単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 〔繰越額〕
本通交番の代替施設利用に係る使用料等	6,034	6,034	5,566 [—]

2 老朽化の著しい次の交番・駐在所について、建替整備を行う。 (単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額 ※	予算執行額 〔繰越額〕
・ 井口交番（広島西警察署） 現地建替工事を行う	25,090	25,090	25,090 [—]
・ 新市交番（福山北警察署） 移転建替工事を行う	55,732	62,732	61,289 [—]
・ 重井駐在所（尾道警察署） 移転建替工事を行う	47,730	39,730	38,469 [—]
・ 伴交番（安佐南警察署） 現地建替工事を行う	56,030	56,030	17,998 [37,728]
・ 広島駅交番（広島南警察署） 移転建替工事のための設計委託を行う	(債務 5,835) —	(債務 5,835) —	— [—]
・ 川西駐在所（三次警察署） 移転建替工事のための設計委託を行う	3,698	3,698	3,224 [—]
・ 河内駐在所（佐伯警察署） 移転建替工事のための設計委託を行う	3,644	3,644	3,561 [—]
小 計	(債務 5,835) 191,924	(債務 5,835) 190,924	149,631 [37,728]
合 計	(債務 5,835) 197,958	(債務 5,835) 196,958	155,197 [37,728]

※令和6年度2月補正を含む。

令和6年度の成果目標と実績

○ 事業目標と実績

	目標値	実績値
R4	3施設の建築 4施設の設計	3施設の建築 4施設の設計
R5	4施設の建築 3施設の設計	3施設の建築（1施設は繰越） 3施設の設計
R6	4施設の建築（前年度繰越分含む） 3施設の設計	3施設の建築（1施設は繰越） 3施設の設計

令和6年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 「安全・安心をもたらす警察活動」の拠点となる、交番・駐在所の計画的な建替整備を推進するため、老朽化の著しい3施設の建築及び3施設の設計（1施設については、令和6、7年度の債務負担）を実施することとしていたところ、令和5年度建築予定の1施設について、電気配線部材の全国的な不足による工期遅延により、完成が令和6年度に繰越となった。また、令和6年度においても、1施設の建築について入札不調による工期遅延が生じたため、次年度への繰越となり、目標達成に至らなかった。

県民の安全・安心な暮らしを確保するため、交番・駐在所の計画的な建替整備を推進し、機能維持を図る必要がある。

令和7年度の取組方向

- 老朽化が著しい交番・駐在所の計画的な建替整備を推進するため、現地調査に基づき、交番・駐在所に必要とされる機能や、事業費の削減方法等施設の最適配置を引き続き検討し、計画的な施設整備を推進する。

令和6年度主要事業の成果

支出科目	款：警察費 項：警察管理費 目：運転免許費
担当課	警察本部
事業名	免許事務費<運転免許証とマイナンバーカードの一体化に向けた基盤整備> (単県) 【新規】

目的

令和6年度末までに全国一律に開始される運転免許証とマイナンバーカードの一体化に伴い、運転免許証作成機の改修や機器の整備、及び同時に開始されるオンライン更新時講習用の動画作成等を行い、制度の円滑な導入を図る。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
マイナンバーカードとの一体化対応	運転免許証とマイナンバーカードとの一体化に伴う運転免許証作成機の改修及び機器の整備	53,674	45,674 43,559 [—]
オンライン更新時講習の導入	オンライン更新時講習の導入に伴う動画作成及び機器の整備	1,312	1,312 372 [—]
合 計		54,986	46,986 43,931 [—]

令和6年度の成果目標と実績

- 事業目標：円滑で障害の無い運転免許事務の実施
- 事業実績：令和7年3月、計画どおり運用開始し、制度を円滑に導入した。
全国警察が利用している共通基盤システムであるため、当県以外を起因とした障害は発生したが、事前に定めてある要領に従って迅速に対応した。
なお、当県を起因とした障害は発生していない。

令和6年度の目標と実績の乖離要因・課題

- マイナンバーカードとの一体化対応及びオンライン更新時講習の導入について、計画どおり運用を開始し、目標を達成した。

令和7年度の取組方向

- 引き続き適正な運用を図るとともに、運転免許証とマイナンバーカードの一体化やオンライン更新時講習について、県警ホームページや各種媒体を通じた広報を実施する。

令和6年度主要事業の成果

支出科目	款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費		
担当課	警察本部		
事業名	警察本部別館基町庁舎(仮称)建替等整備事業（単県）【新規】		
目的			
老朽化し、狭隘かつ耐震性のない警察本部別館基町庁舎を建て替え、併せて広島市内に点在している別館庁舎を集約し、警察本部機能の強化を図り、県民の安全、安心な暮らしを確保する。			
事業説明			
対象者			
県民等			
事業内容			
(単位：千円)			
内 容	当初予算額	最終予算額 ※	予算執行額 [繰越額]
別館基町庁舎新築等整備事業	○ 別館基町庁舎敷地における地質調査	7,895	7,895 7,102 [—]
	○ 新庁舎における建築設計 ・ 公募型建築プロポーザル委託 ・ 設計委託（コンストラクションマネジメント委託含む）	(債務 323,428) 2,172	(債務 323,428) 2,172 634 [—]
別館基町庁舎 (北・南館)解体工事等	○ 別館基町庁舎北館及び南館における解体設計	11,320	11,320 9,028 [—]
	○ 別館基町庁舎北館及び南館の一部所属の移転費	2,766	2,766 2,530 [—]
仮庁舎の活用	○ 旧広島南警察署敷地内にある仮庁舎リース及び通信機器設置等	(債務 25,886) 9,407	(債務 25,886) 9,407 8,940 [—]
仮移転費用	○ 民間ビルへの移転に係る賃貸借費用（令和7年2月～3月分、敷金礼金等）	—	43,589 36,074 [—]
改修工事費用	○ 民間ビル等の改修工事に係る費用	—	(債務 13,548) — — [—]
合 計	(債務 349,314) 33,560	(債務 362,862) 77,149	64,308 [—]

※令和6年12月補正予算を含む。

令和6年度の成果目標と実績

- 事業目標：令和12年度の新庁舎開庁に向けた、新庁舎の設計等に着手
(令和6年～令和8年：設計 令和9年～令和12年：建設工事)
- 実績：別館基町庁舎北館及び南館の解体設計及び公募型建築プロポーザル方式による新庁舎設計の受託候補者の選定、地質調査、基本設計（1年目）等を実施した。
また、別館基町庁舎北館及び南館の解体に伴う入庁所属の一部を旧広島南警察署敷地内にある仮庁舎へ仮移転、移転先となる民間ビルに係る賃貸借契約等の各種事務手続き等を実施した。

令和6年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 別館基町庁舎新築に必要となる地質調査や建築設計について、地質調査は年度内に完了し、建築設計は公募型建築プロポーザル方式で基本・実施設計委託の受託候補者を選定し、基本設計を開始した。
- 別館基町庁舎（北・南館）の解体工事に伴う解体設計や所属の移転について、解体設計は年度内に完了し、所属の移転は仮移転先となる旧広島南警察署敷地内にある仮庁舎へ一部の所属の移転が完了した。
- 民間ビルへの移転について、年度内に民間ビルの賃貸借契約を締結し、併せて、民間ビル等の改修工事に関して令和7年度に速やかに実施できるよう令和6年度中に事務手続きを進めた。

令和7年度の取組方向

- 別館基町庁舎新築に係る基本・実施設計は令和8年度まで実施することから、引き続き、新庁舎の設計を進める。
- 別館基町庁舎（北・南館）の入庁所属について、仮移転先での勤務が可能となるよう、改修工事等を実施し、解体工事を開始するまでに移転を完了させる。